

Trial and Error

二 齋 西 上

二 齋 西 上

本物と見間違ふほどのリアリティをもった作風で知られる岡山県在住の画家上西竜二。

上西の制作スタイルは、時とともに変化をしている。制作をはじめた頃は、閃きやタイミングを重視してひたすら待ち続け、できる限り惰性での制作は行わないというスタイルだった。その後、待つというスタンスは変えずその間にも、作品を随時制作していくという姿勢に変化し、近年では、待つことをやめ「衝動に従い動く」事に重点を置くようになった。

それまで、「何を描きたいのか」が曖昧なままだと、「描くことはできない」と思っていたが、描く行為（試してみる）そのものが「何を描きたいのか」を知るカギになる事もあると知ったからだった。

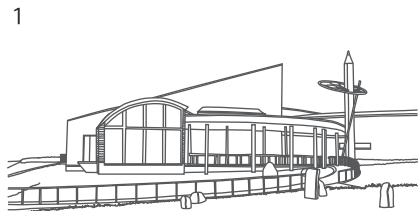
上西は言う。「探すものが何かわからない時がある。しかしそれはどうでもいい、探してみなければ見つからない。迷ったり、わからなくなったりした時には、思いつく限りの事を試してみる。そうすれば、試行錯誤しながら進んでいく過程の中で、

運が良ければ本当に望むものに辿り着けるかもしれない。」

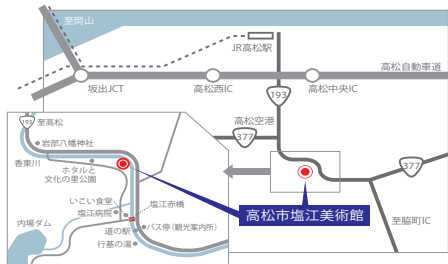
今展では、上西が現在の想いと期待をこめた“Trial and Error”と題して、これまで描いてきた作品をご紹介します。上西竜二が描く絵画の世界、現実か幻か自分の眼でこの機会に是非お確かめください。



1 真実に到達するための方法 真実とは何か？（部分）/変形(180×90 cm) 2010年
 2 たど見えなくとも 力強くそれは存在している /変形(53.5×41.5 cm) 2011年
 3 私自身を持って余す事のない 私より小さく広い器 /F6(40.9×31.8 cm) 2015年
 表紙 止まない孤独と 向き合う事の苦悩 /S12(60.6×60.6 cm) 2012年



高松市塩江美術館
 Takamatsu Shionoe Museum of Art
 〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上602
 TEL: 087-893-1800 FAX: 087-893-1833



【交通案内】
 バス：JR高松駅から「こととんバス塩江線」約60分、塩江バスターミナル下車徒歩10分
 自動車：高松市中央ICまたは高松西ICより約40分、脇町ICより約30分
 飛行機：高松空港よりタクシーで約20分

関連イベント

「アーティストレクチャー」
 作家が作品や制作についてお話しします。

日時 9/25(日)
 13:00~13:50
 場所 塩江美術館 企画展示室
 (観覧券が必要)

上西 竜二 Ryuji Uenishi



1976 岡山県井原市に生まれる
 1999 岡山大学教育学部特別教科教員養成課程美術専攻卒業
 2001 広島市立大学院絵画専攻(油彩)修了
 :修了制作展にてプリ・ラ・ジュネス賞受賞

主な展覧会

< 個展 >

- 2000 初個展、以来毎年個展開催(岡山・広島・東京など)
- 2007 銀座・秀友画廊(東京都千代田区) 福山天満屋(広島)
- 2010 公文庫カフェ(岡山)
- 2011 奈義町現代美術館(岡山) しぶや美術館(広島)
- 2014 ふくやまアートサロン(広島)

< グループ展 >

- 2001 「ルピコン展」/銀座東邦アート(東京都)
- 2004 「新内外洋画展」/天満屋(中国地方巡回)
- 2005 「美陽美術協会」所属(以降、同展、チャリティー作品展に毎回参加) /笠岡グランドホテル内ワーカーミュージアム(岡山県)
- 2009 「岡山県若手支援事業第2回I氏賞」奨励賞受賞 /岡山県天神山文化プラザ(岡山県) 「生人形 堀佳子(里歩)の世界~永遠~」 コラボレーション出品 /奈義町現代美術館(岡山県) 「倉式 111匹の龍の末裔」/岡山県民文化祭倉式ジャム アイビススクエア内アイビー学館(岡山県)
- 2011 「CREATORS LOUNGE」/倉敷阿智神社 齋屋(岡山県) 「I氏賞展」/岡山県立美術館(岡山県)
- 2012 ~美術講座~井原市/華鶴大塚美術館(岡山県)
- 2013 「アートの今・2013 BODY 身体の記憶」/岡山県天神山文化プラザ(岡山県)